



学校だより

## 子どもの未来をみんなで創る

令和2年12月号

神奈川県立相模原中央支援学校

先日のニュースで、「はやぶさ2」が小惑星リュウグウの砂を採取して、そのカプセルを地球に戻すことに成功したとありました。その砂には、生命の起源を解明する可能性を秘めているそうです。

私は1970年の大阪万博で月の石を見て「なんや!ただの石やね…」と感じた少年です。小惑星の砂よりも、カプセルを切り離れた「はやぶさ2」が、新たなミッションを受けてそのまま別の惑星に旅立っていったことにとっても感動しています。次の惑星には2031年ごろ到着するそうです。2014年に種子島宇宙センターから打ち上げられて、これまでに6年間かけて戻ってきました。新しいミッションが片道11年なので戻るのは、2042年ごろになるのでしょうか。なんと30年間無補給で宇宙を移動する技術の高さと、使い倒すスピリット(これぞ日本)・・・とにかくすごい一言です。



さて、4月の臨時休業から始まった新型コロナへの対応は、なかなか終息が見えない状況です。これまで同様にお子様とご家族の皆様の体調管理にはご留意ください。

校内では、未来プロジェクトを進めています。①図書室活用プロジェクト:これまで職員が図書管理してきました。子ども達の学習活動の一つとして、書籍の整理管理や高等部の生徒による読み聞かせイベント(リモートによる)を行っています。②カフェ・プロジェクト:校内に喫茶室を設け子ども達の授業で運営する。コロナ後の授業の可能性に期待しています。(校長 鈴木 善之)

### 行ってきました修学旅行～小学部 中学部編～

コロナ禍の修学旅行ということで安全第一に行ってきました。食事場面では対面にならないように座席を配置し、適切な距離をとって食事をしました。また見学時には周囲と一定の距離を保ち、密集している場所は避けるようにしました。修学旅行中に体調を崩すことなく、みんな元気に行くことができました。例年とは違う修学旅行となりましたが、小学部・中学部の楽しい思い出になったことと思います。

<小学部>

知的部門は、10月20日に相模湖プレジャーフォレストに行きました。自分で選んだ乗り物に乗ったり、広いフードコートで食事をしたり、お土産を買ったりして楽しんできました。

肢体部門は、11月13日に江ノ島方面へ行きました。上着を着ていると暑いくらいの晴天の中、海を眺めたり、おしゃれなカレーの専門店では本格カレーを味わったりしてきました。

<中学部>

知的部門は、10月8日、9日で山梨方面に行きました。あいにくの天気でしたがリニア鉄道館、富士山5合目、富士急ハイランド等で楽しく活動できました。名物のほうとうも味わうことができ、山梨県を満喫してきました。

肢体部門は、11月11日にオービィ横浜に行きました。間近でフクロウやカピバラを見ることができ、オウムやモルモットには実際に触ることができました。GoToキャンペーンの地域共通クーポンを使用して、家族と自分へのお土産を選んで買ってきました。(小学部 栗田 中学部 新明)